

家づくりの
お宅訪問
(interview with new home)
REPORT #00



ガラスのランプシェードが印象的なダイニングから、キッチンを見た様子。家具はイギリスのアンティークのテイストが好きだという奥さまの好みでコーディネート



上、大きい床や吹き抜け天井を覆う木材など上質な木の質感が濃厚な雰囲気を醸し出すリビング。秋冬は暖ストーブが楽しみの二重。奥さまのお気に入りのタイルを配したキッチンの収納は「ハウズランド」の造作。家電は見えない位置に収納



朝倉郡在住 Kさんの住まい

**洋の東西を超越する
伝統の美に魅せられる**

何度も旅をしたイギリスの重厚で上品なインテリアも、ご先祖様を敬う日本の伝統文化も、どちらも大切にしたい家の要素。Kさんと「ハウズランド社」ならではの唯一無二の家をご紹介します。



南側の窓に面したダイニングスペース。娘さんご一家も集まると賑わいの空間に

「その日は休館日だったためガラス窓越しにそと中を覗くだけでしたが、一目でもものすごく心惹かれました。後日、筑紫野市山口にあるハウズランド社のスタジオ『風のくら』へ見学に行き、その場で正式にわが家の建築を依頼しました。堂々と風格のある柱や梁、日本の伝統的な設えを大切にしたい和室、そして薪ストーブのある憩いのスペース。思い描いていた理想の要素がすべてそこにありましたから。」

あらかじめ頭の中に入れていた家のイメージが出来上がっていたKさんは、当時を振り返る。「やっぱり施主も業者も、互いに関係がないとね。ハウズランド社さんとはいい関係が築けそうだなと思ったし、実際の施工中もずっといい話し合いができましたよ。」



カーポートには竣工記念のご夫婦の手型が

「思い立ったが吉日。家づくりのきっかけを訊ねると、ご主人からそんな答えが返ってきた。「思い立ったらすぐ動く。人生、何でもタイミングが大事ですから。」その吉日とは、2019年5月頃のことだった。早速、ご夫婦で県内の住宅展示場を見て回ることにしたが、なかなか思うような家には出会えなかったという。が、そんな途中ふらりと立ち寄ったのが筑紫野市吉木にある「ハウス

施主も施工主も対等
何でも話し合える関係



右、数寄屋門と木の外観に守られたK邸。伝統的な入母屋造りはフォルムが美しく、堂々とした印象を響ける。／左、門をくぐり長いアプローチを渡って玄関へ